



脳卒中地域連携普及推進強化事業 令和元年度事業報告

独立行政法人労働者健康安全機構 岡山労災病院



連携強化のための研修会

-  地域連携研修会（市町出前講座）
-  多職種意見交換会ワールドカフェ
-  もも脳ネット県民フォーラム

地域連携研修会（市町出前講座）

『意思決定プロセスの地域連携：アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を脳卒中で考える』

- 日時：2019年11月28日（木）14：00－16：00
- 会場：西大寺ふれあいセンター
- 対象者：ケアマネージャー、訪問看護師はじめ医療・介護・福祉に関わる職種の方
- 参加者：82名
- 主催：もも脳ネット。幹事病院：岡山ろうさい病院、岡村一心堂病院。本講演会は岡山県備前県民局より委託を受けた脳卒中地域医療連携普及推進強化事業の一環として行われました。

地域連携研修会（市町出前講座）

14 : 00 開会挨拶 岡山ろうさい病院 脳卒中科 足立吉陽

14 : 05 講演① 『「最後まで自分らしく」想いを叶えるために（ACPの実践）』

玉野市立玉野市民病院 看護部長 がん看護専門看護師 國只世都先生

15 : 00 講演② 『ケアマネジャーの視点で見るACP』

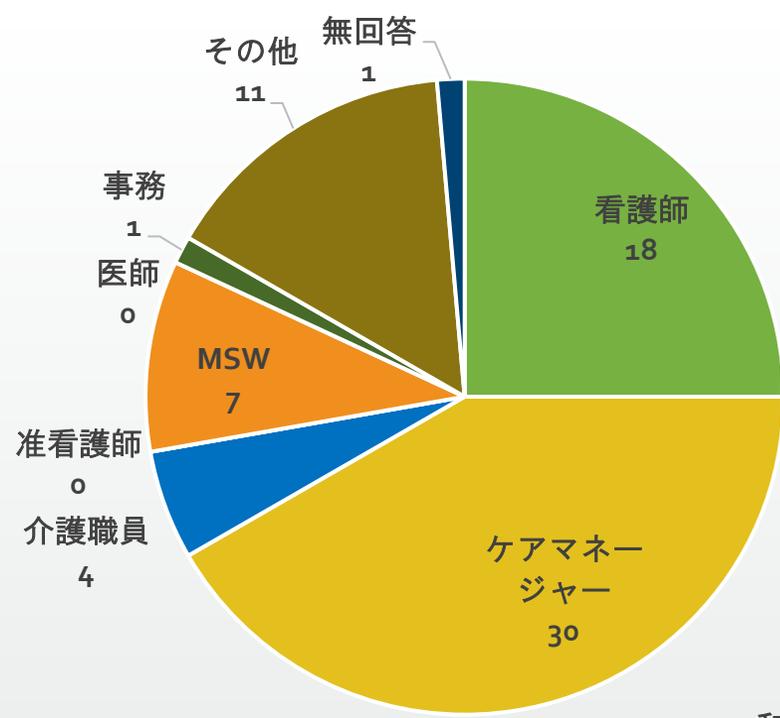
こうなんクリニック在宅介護支援センター 主任ケアマネジャー 丸田康代先生

15 : 20 講演③ 『判断能力が低下したら、準備しよう～最期まで自分らしくあるために知らせておくべきこと～』

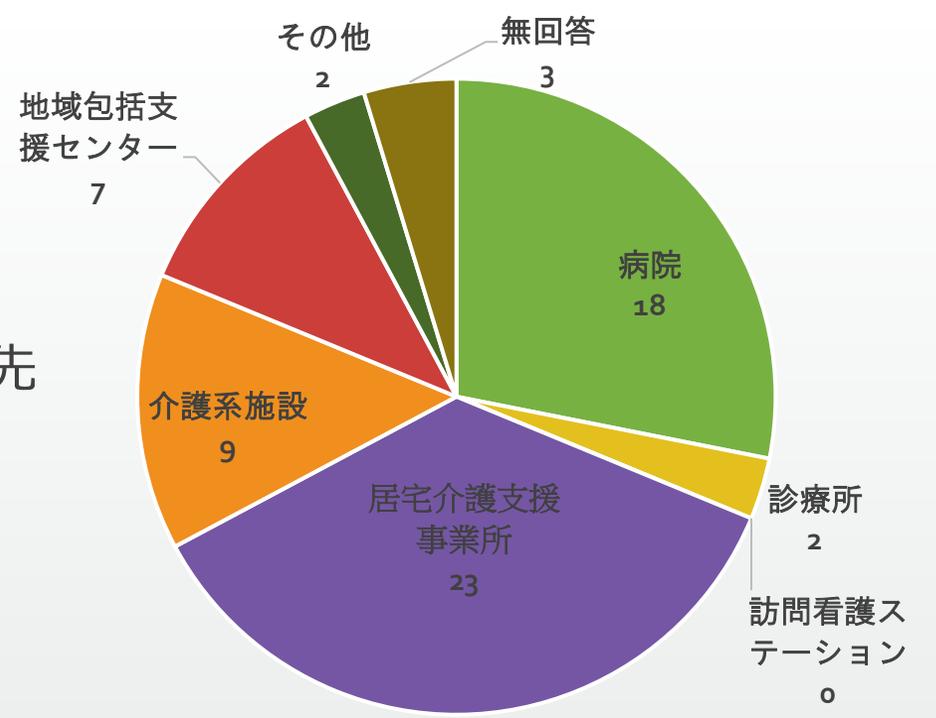
岡村一心堂病院 経営企画室理事長秘書 弁護士 三宅京子先生

15 : 50 閉会挨拶 岡山県介護支援専門員協会 会長 堀部徹先生

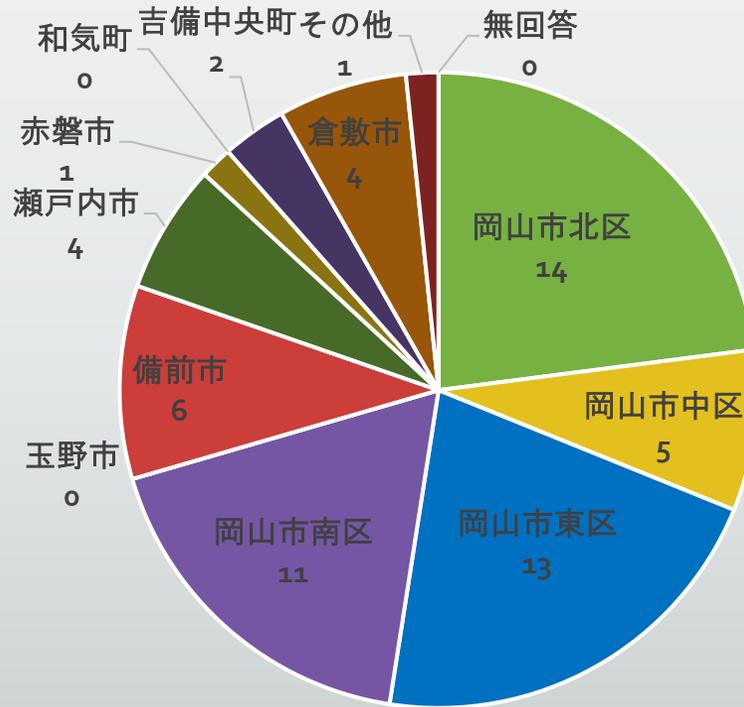
職種

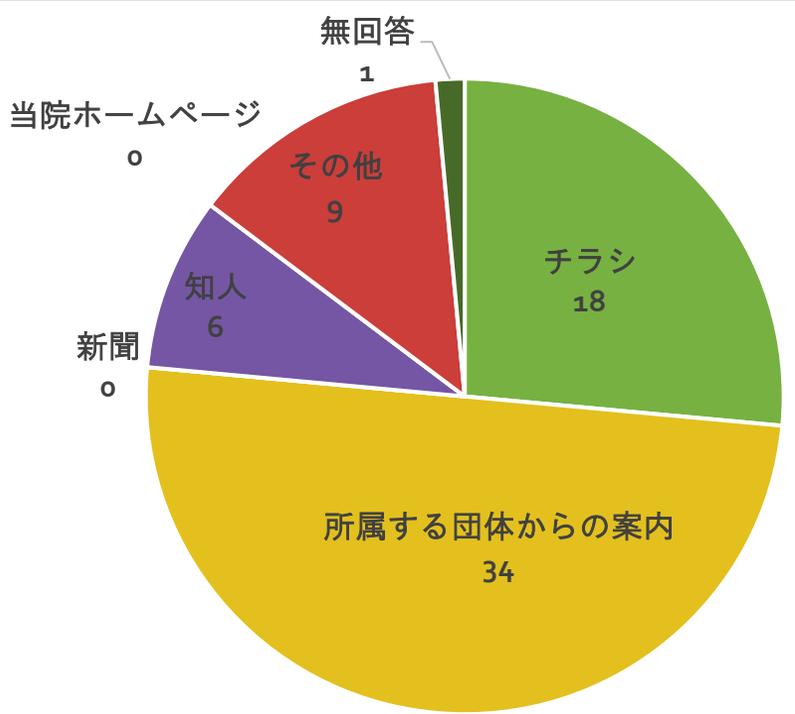


勤務先



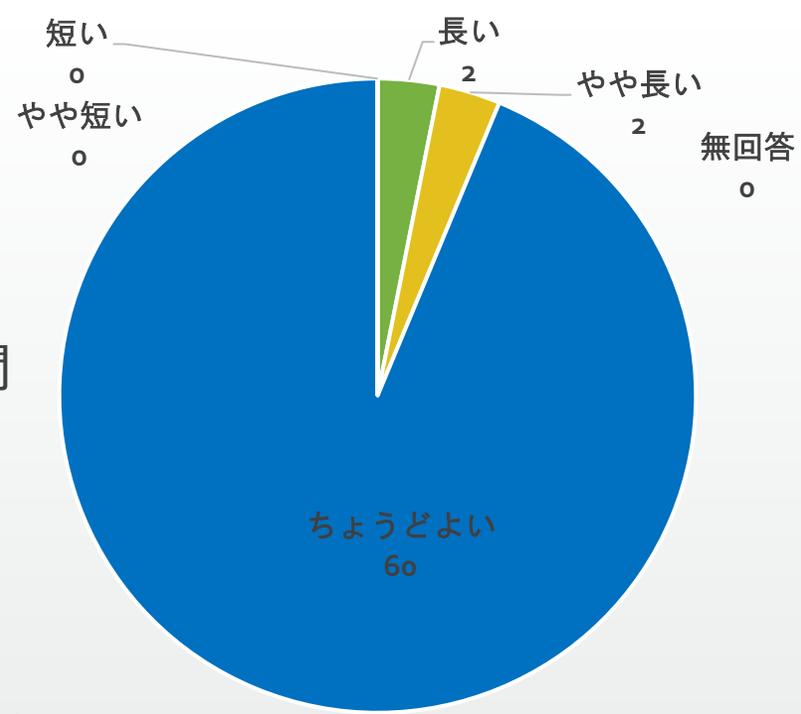
勤務先所在地



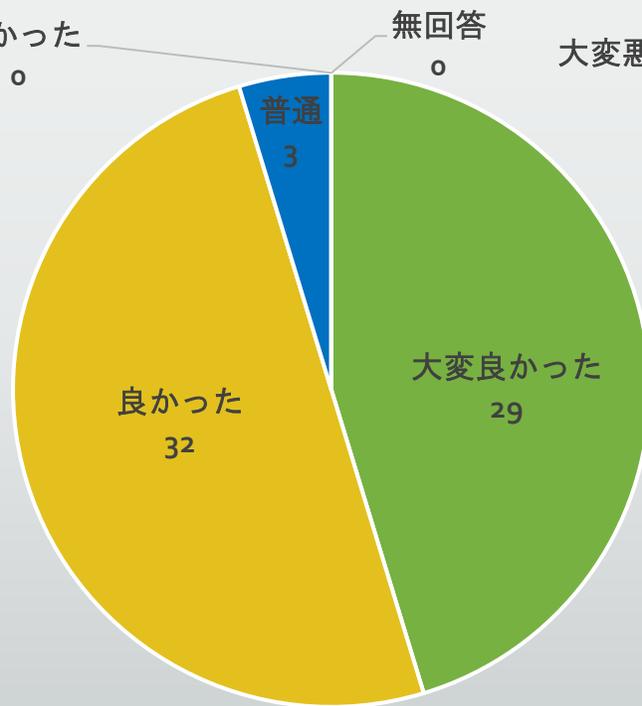


研修会を知ったきっかけ

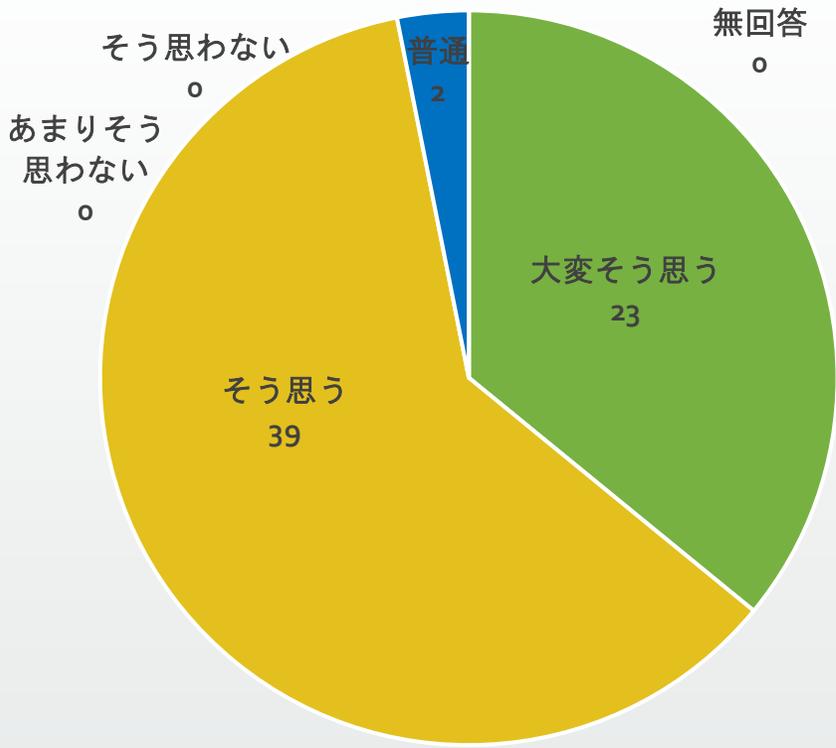
講演時間



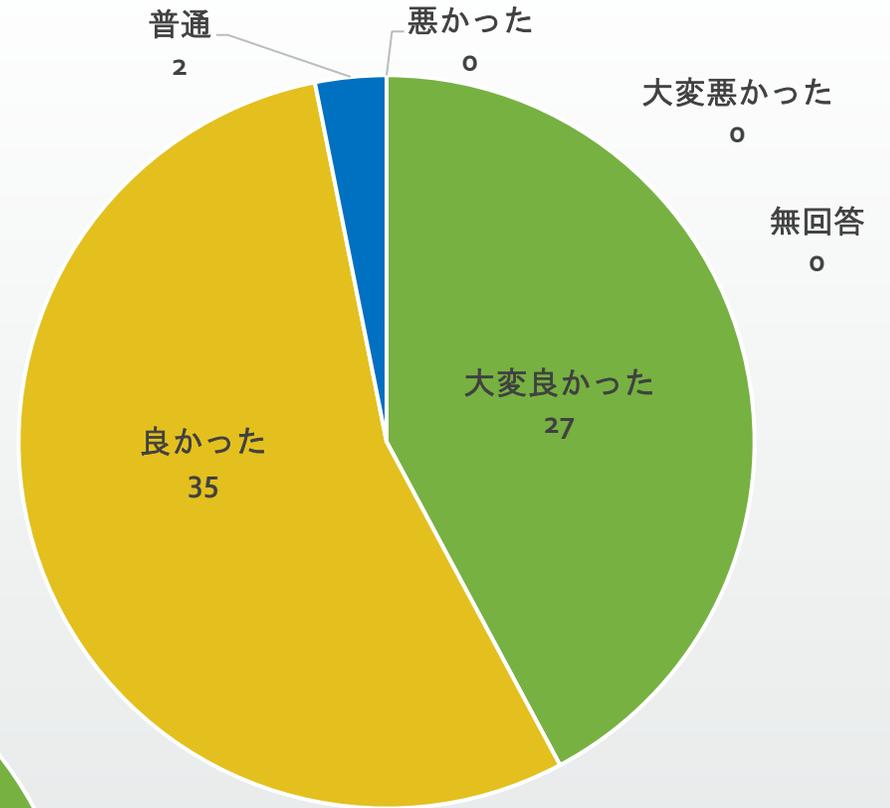
講演内容



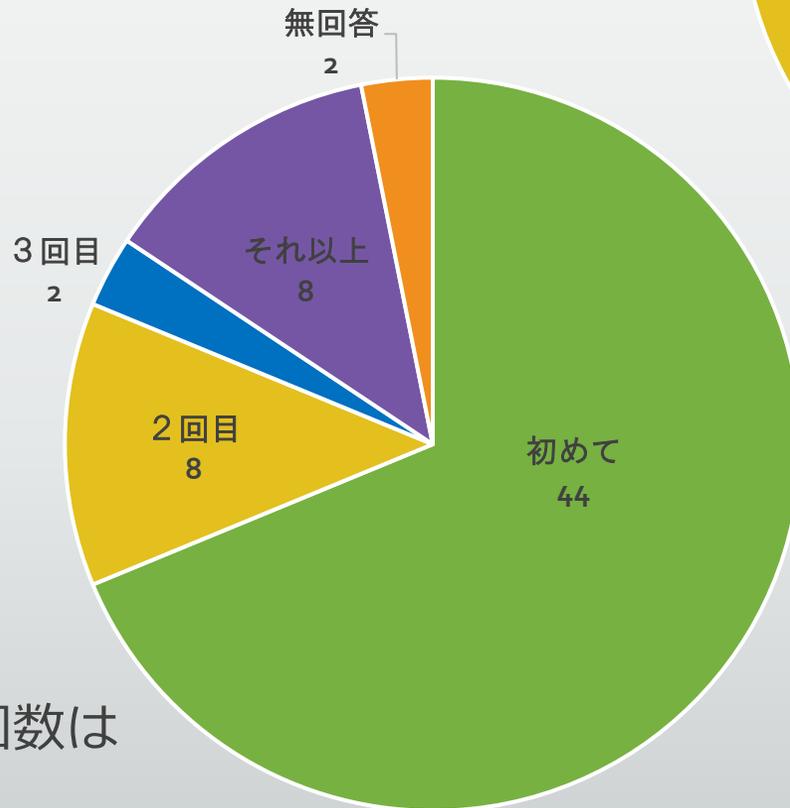
今後の業務に役立ちそうですか？



スタッフの対応



もも脳ネットのイベントへの参加回数は



ご意見・ご要望（1）

- ・とても参考になりました。本人の意思を尊重し、その都度話し合っていきたいです。
- ・ACPの本当の意味が何となく？より具体的に理解できました。
- ・とても良いお話しでした。
- ・三宅弁護士さんの話も非常に重要な内容でした。
- ・現場での実際の事例を示していただいていたよかったですと思いました。
- ・法律のことが分かったうえで、今後ACPも含め利用者、ご家族へかかわっていきたいと思います。
- ・遺言について参考になった。トラブルを避けるため、重要なことである。
- ・ACPの中に含めて検討をすすめたい。
- ・様々な立場の方から話が聞けて良かった。
- ・自分が取り組めることは何か考え行動したいと思いました。
- ・遺言は財産管理のACPであると改めて感じた。今後のことは話しにくいことではあるが対象の方には話をしていきたい。
- ・暗いとメモが取りにくいです。

ご意見・ご要望（2）

- ・講師の方、どの方も、内容が分かりやすく良かったです。いろんな分野の方の話を聞くことで、よりACPの理解ができました。ありがとうございます。
- ・ACPについていろいろな視点からご教示いただき、大変参考になりました。元気な時から当たり前に終末期、死後の話ができるような社会になればと思います。
- ・ケアマネさんの事例が良かったです。法律の視点の話も参考になりました。
- ・1人暮らし、身寄りのない高齢1人暮らしの方がおられます。本日の講演を聞いて、最終の場所、そしてお金のことについて、早急に考えていく必要があると思いました。
- ・有意義なお話をありがとうございました。
- ・國只先生の講演でACPをどのように進めたらよいか大変よく理解できました。今後に活かせそうです。
- ・具体的な話し合いのタイミングや内容、様子を教えてほしい。
- ・脳卒中では日頃より本人の意思確認が行えていない。家族の希望が主となることは考えていたので、今後、判断はできなくても考えを確認してみようと思います。ありがとうございました。
- ・弁護士の三宅先生のお話はとても新鮮でした。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・医療介護の現場で弁護士の法律的視点からアドバイスいただける病院がすごくうらやましいです。

多職種意見交換会ワールドカフェ

- ・令和2年1月26日（日）午前9時30分-11時30分。
- ・岡山労災看護専門学校講堂。
- ・テーマ
 - ①「栄養管理の地域連携：脳卒中を乗り切る栄養管理」
 - ②「意思決定プロセスの地域連携：ACPを脳卒中で考える」
 - ③もしばなカード
- ・多職種によるスモールグループディスカッション。
- ・対象は医師、看護師、管理栄養士、PT/OT/ST、MSW、CMなど多職種。
- ・参加者 87名。

多職種意見交換会ワールドカフェ

討論内容

「栄養管理の地域連携：脳卒中を乗り切る栄養管理」

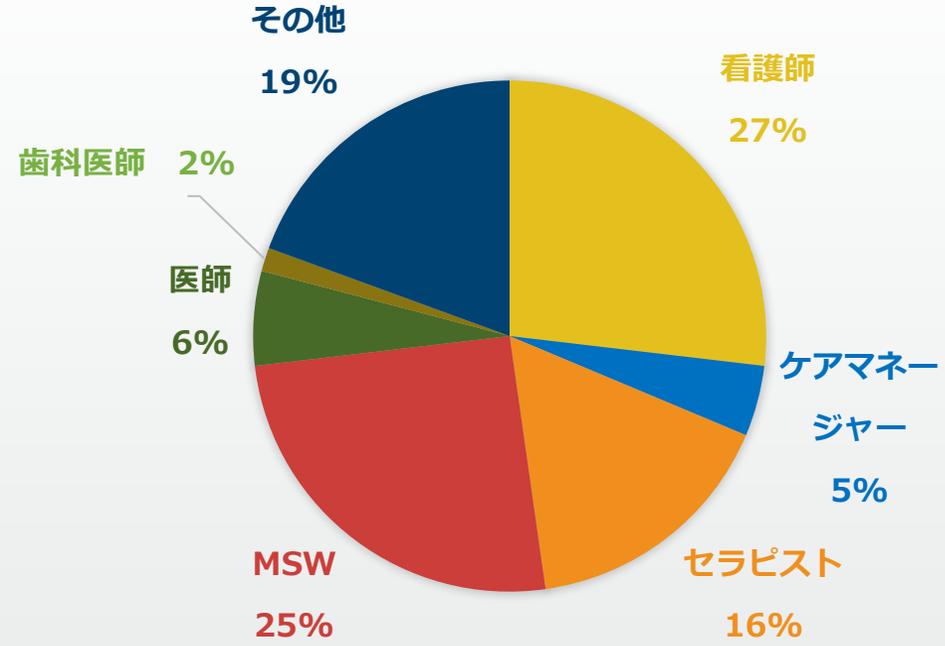
- ◇急性期、回復期、特に生活期への栄養管理の連携。
- ◇生活期での栄養管理のニーズ。
- ◇誤嚥性肺炎での繰り返し入院を防ぐために何が必要か。

「意思決定プロセスの地域連携：ACPを脳卒中で考える」

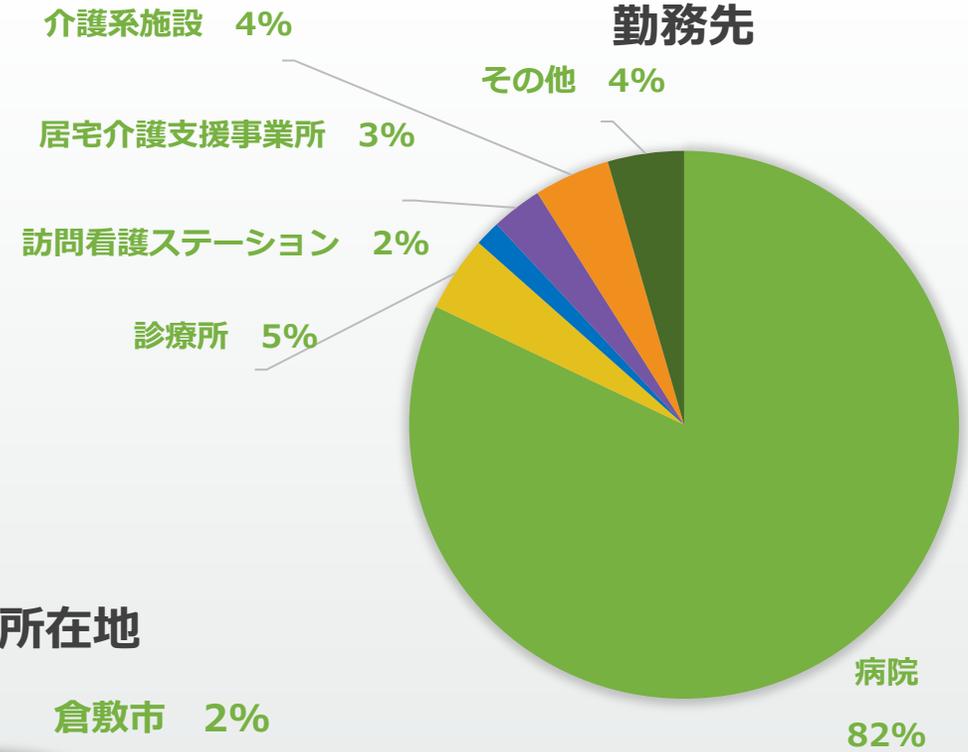
- ◇脳卒中など突然発症の病態にACPはマッチするか。
- ◇急性期、回復期、生活期の医療・介護職間の情報共有。
- ◇AHN導入や誤嚥性肺炎治療介入についての是非。

「もしばなカード」◇みんなでやってみましょう。

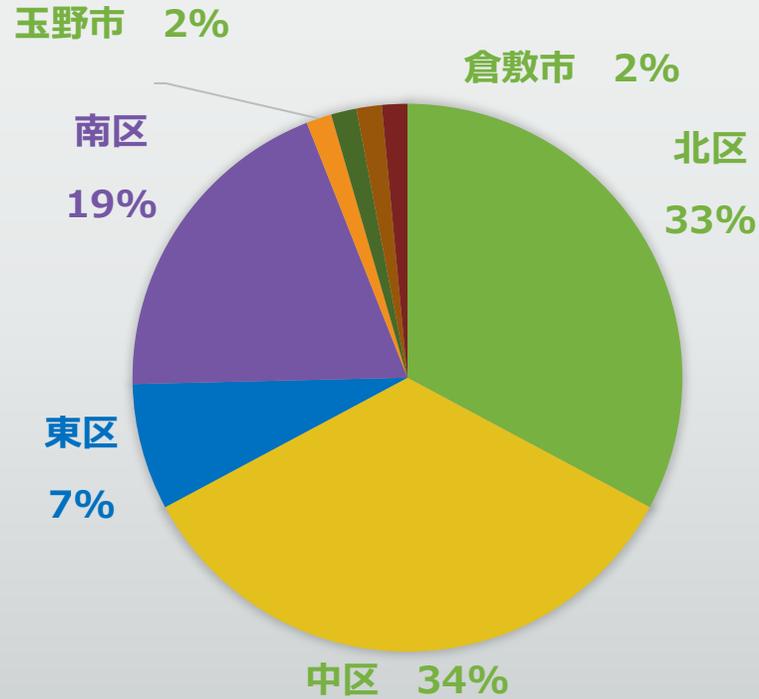
職種



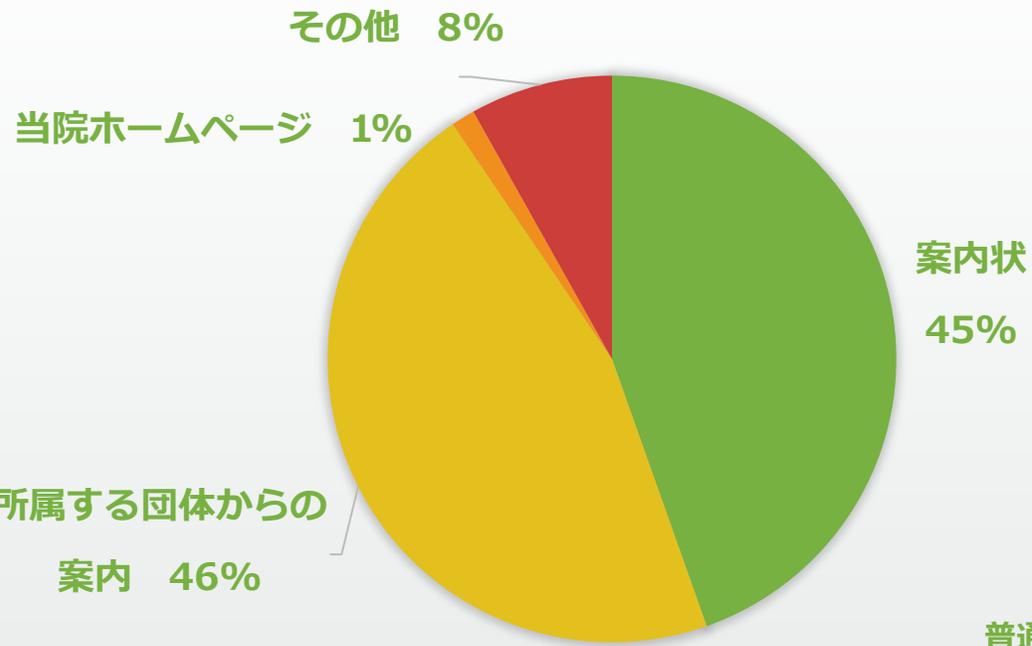
勤務先



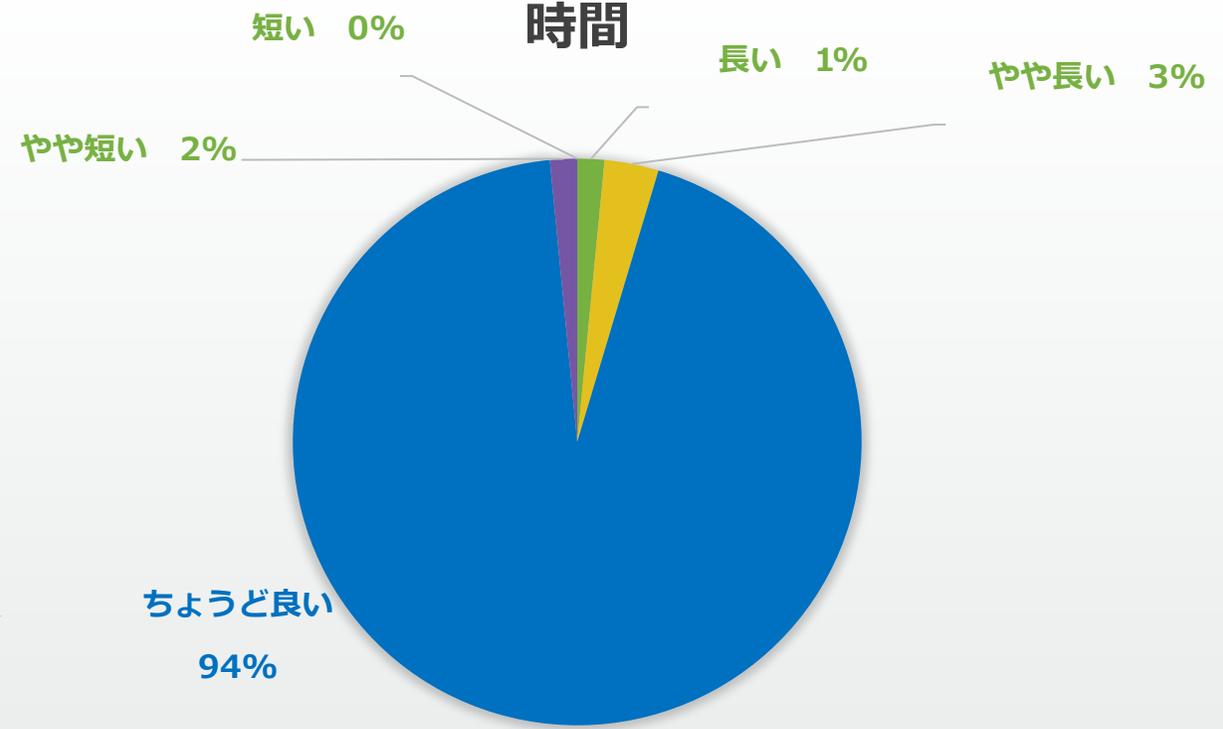
勤務先所在地



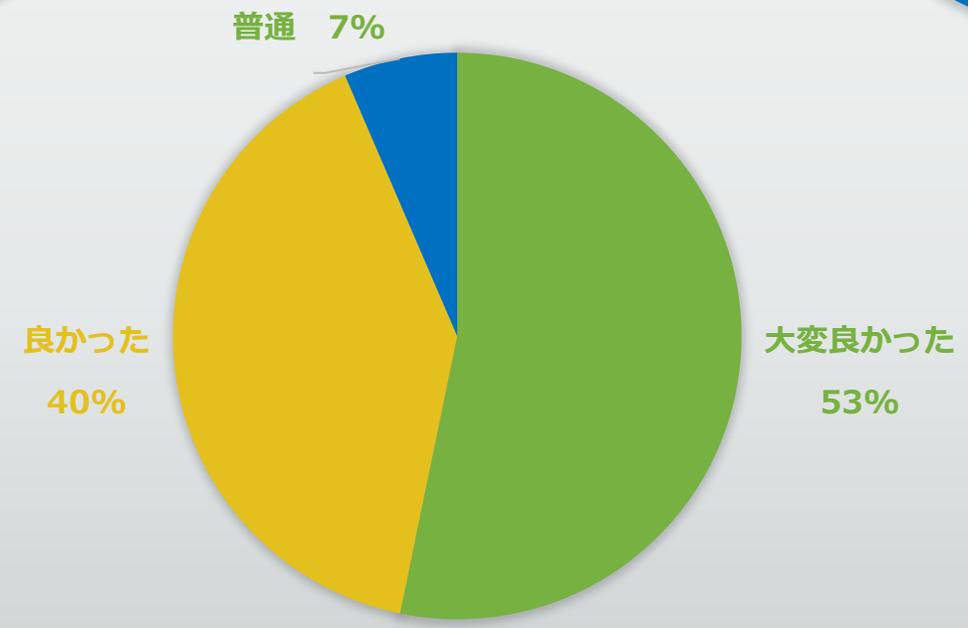
参加のきっかけ



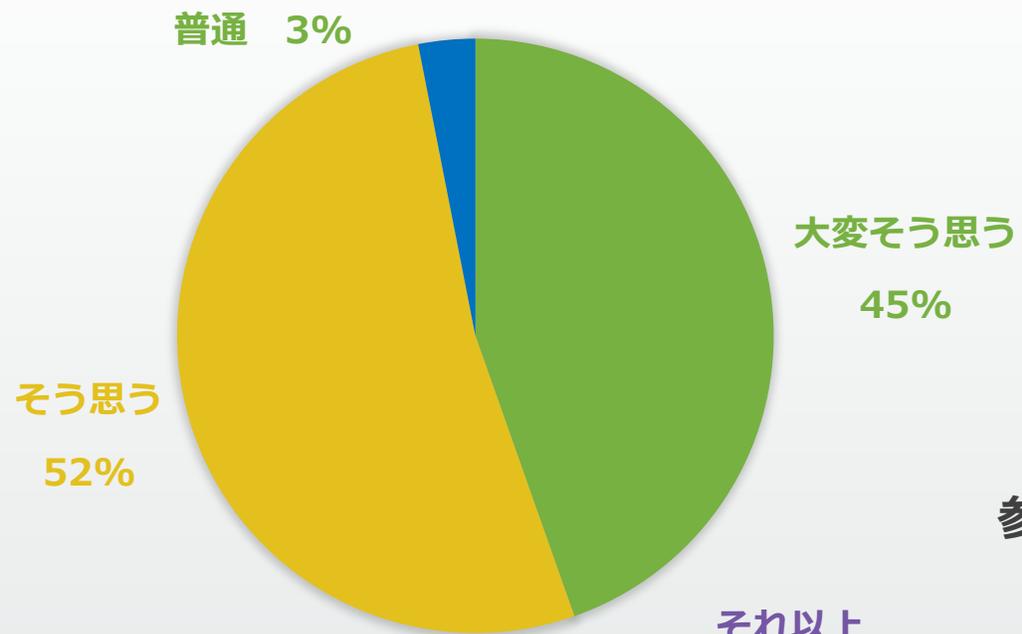
時間



内容

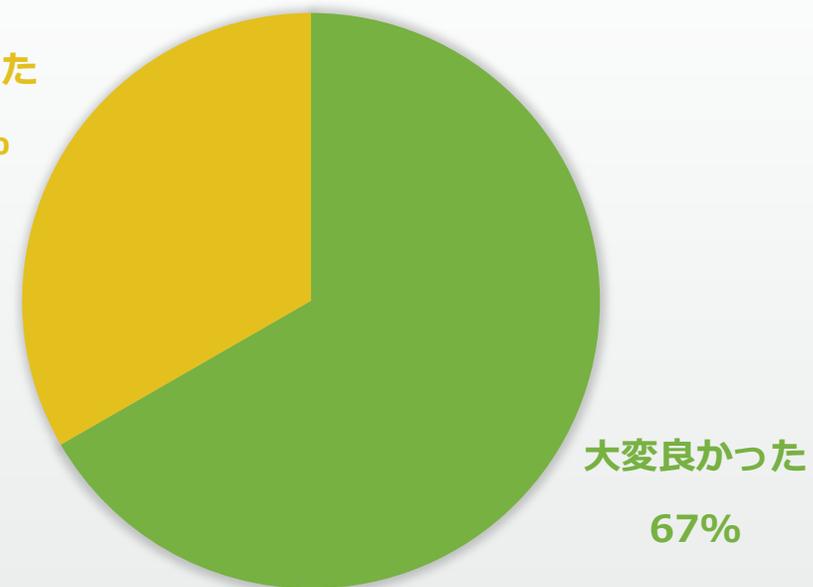


業務に活用できるか

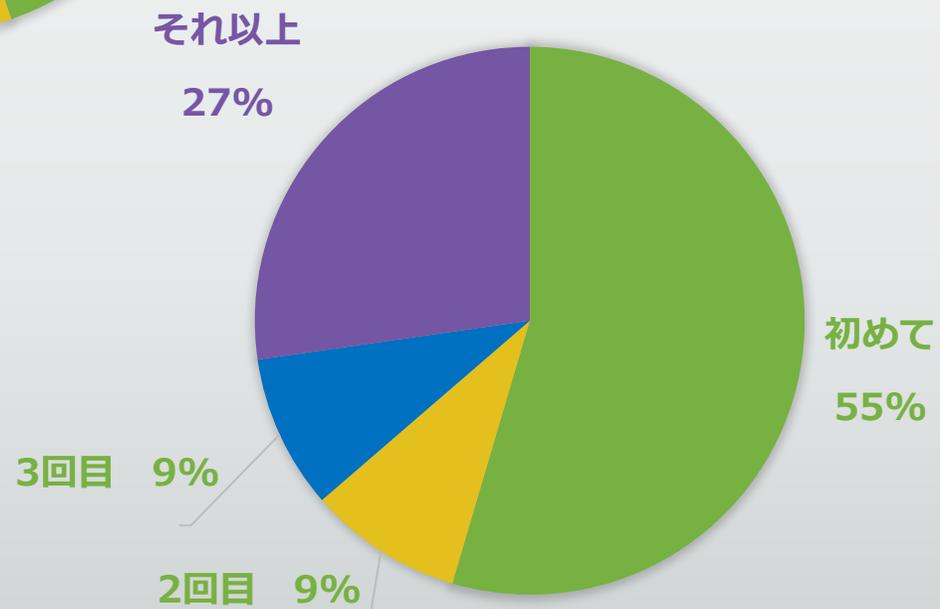


スタッフ

良かった
33%



参加回数



ご意見・ご要望（1）

◆急性期・回復期・地域どの領域で働いていても問題点であったり、疑問点であったり、共通していることが多々あると感じました。そのあたりを意識して、継続した切れ目のない医療を提供できるよう微力ながら関わっていかれたらと思います。

◆日頃の業務で悩んでいることについて多職種、多領域の方の視点で情報、現状を聞くことができ顔が見える場であったことが良かったです。

◆臨床を含めて自分や家族のACPを話す、考える良い機会になりました。今後活かしていきたいと思います。

◆在宅に関係する職種の方がもう少し参加してくれたらさらにより良い機会になったと思います。医療職種側でもACPを知らない人が多いことに驚きました。ACPについて正しい解釈が必要だと思いました。

◆様々な病院や立場の方々から話が聞けて、いろいろな考えがありとてもためになりました。

ご意見・ご要望（2）

- ◆地域で活躍されている方の顔が見えるこのような集まりはとても有意義です。
- ◆初参加で知らない方も多かったのですが勉強になりました。楽しかったです。
- ◆意思決定のための情報提供等具体的な話が聞けて良かったです。
- ◆発表者が最初から決まっていたのでセッションがスムーズに行えたと思います。とても勉強になりました。セッションのみというのがとても有意義で斬新だったと思います。
- ◆もしバナゲームを体験できたり、多職種で有意義な意見交換ができました。
- ◆とても良い企画でした。予算執行などの問題もあり、この時期になるのは仕方ないとは思いますが、マスクなしでできる時期にできたらいいのにと思います。
- ◆介護施設と病院間の連携をもっとしたいと思っていたので良かったです。また参加したいです。
- ◆もしバナカードはおもしろかったです。自身を改めて見直す機会になりました。
- ◆運営・準備していただき、ありがとうございました。

もも脳ネット県民フォーラム

- ・令和2年1月26日（日）14時-16時。
- ・岡山労災看護専門学校講堂。
- ・聴講者：192名。
- ・テーマ

「食で健康長寿～地域でつなぐ栄養管理～」

Oniビジョン〈後援〉で全編録画放送

2月16日17:00-18:35

2月23日16:00-17:35

もも脳ネット県民フォーラム

◇開会挨拶 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学教授 阿部康二先生
岡山県備前保健所所長 徳山雅之先生

◇演題① 『脳卒中を乗り切る栄養管理』

演者：岡山ろうさい病院脳卒中科 足立吉陽 座長：済生会吉備病院脳神経外科 難波洋一郎先生

◇幕間① 「サルコペニア予防：たんぱく質摂取」 岡山ろうさい病院 福島栄養管理室長

◇演題② 『「口から食べる」を支える～地域で暮らすために知っておきたい3つのこと～』

演者：金田病院言語聴覚士 森元隆行先生 座長：岡山旭東病院理学療法士 片岡孝史先生

◇幕間② 「サルコペニア予防：レジスタンス運動」 岡山ろうさい病院 大内理学療法士

◇演題③ 『在宅での栄養管理～生活期を支える栄養ケア・ステーション～』

演者：くらしき作陽大学食文化学部教授 坂本八千代先生

座長：川崎医大総合医療センター管理栄養士 鈴木淑子先生

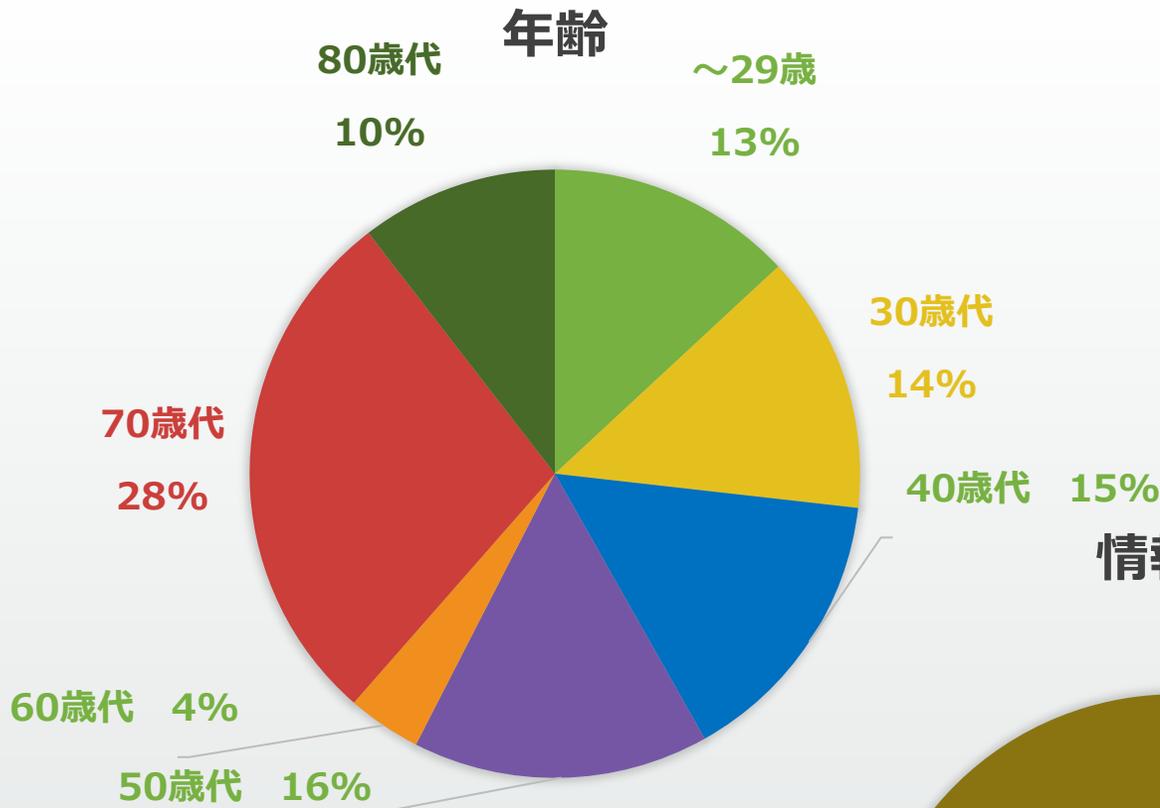
◇閉会挨拶 岡山ろうさい病院 三好新一郎院長

もも脳ネット県民フォーラム

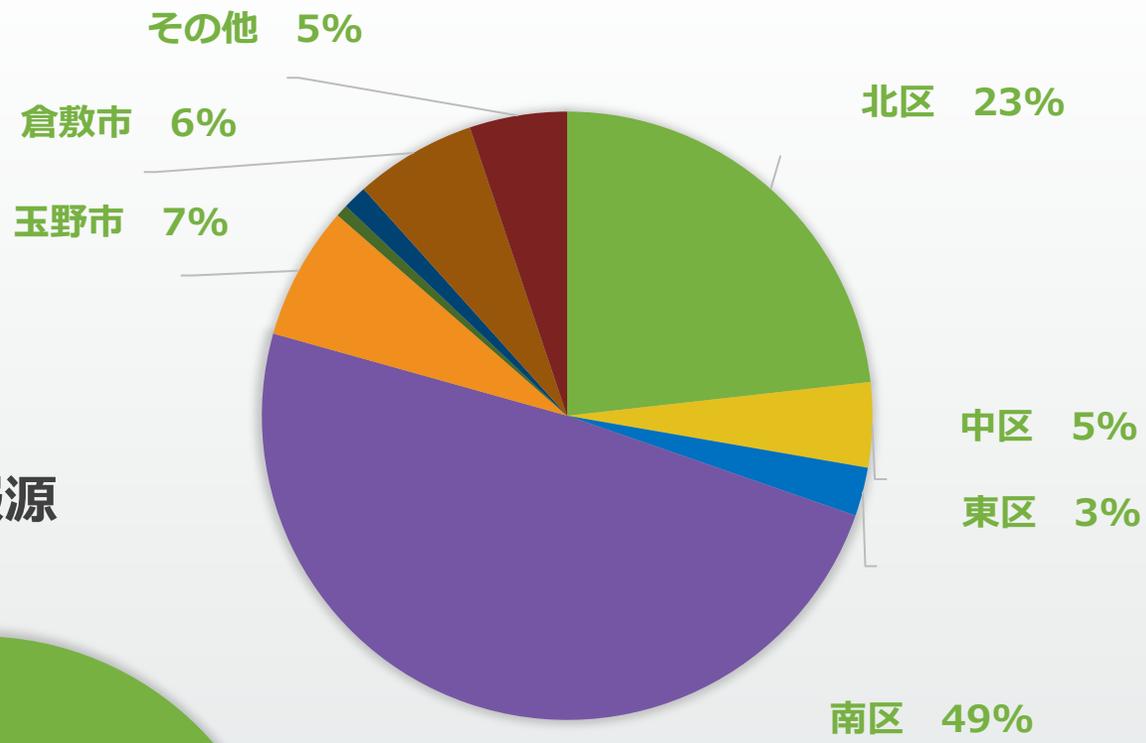
特設ブース 13:00-14:00

- ◇岡山市歯科医師会
- ◇岡山県訪問看護ステーション連絡協議会
- ◇岡山トータルフットケアを考える会
- ◇岡山県栄養士会
- ◇岡山県介護支援専門員協会
- ◇岡山ろうさい病院中央リハビリテーション部

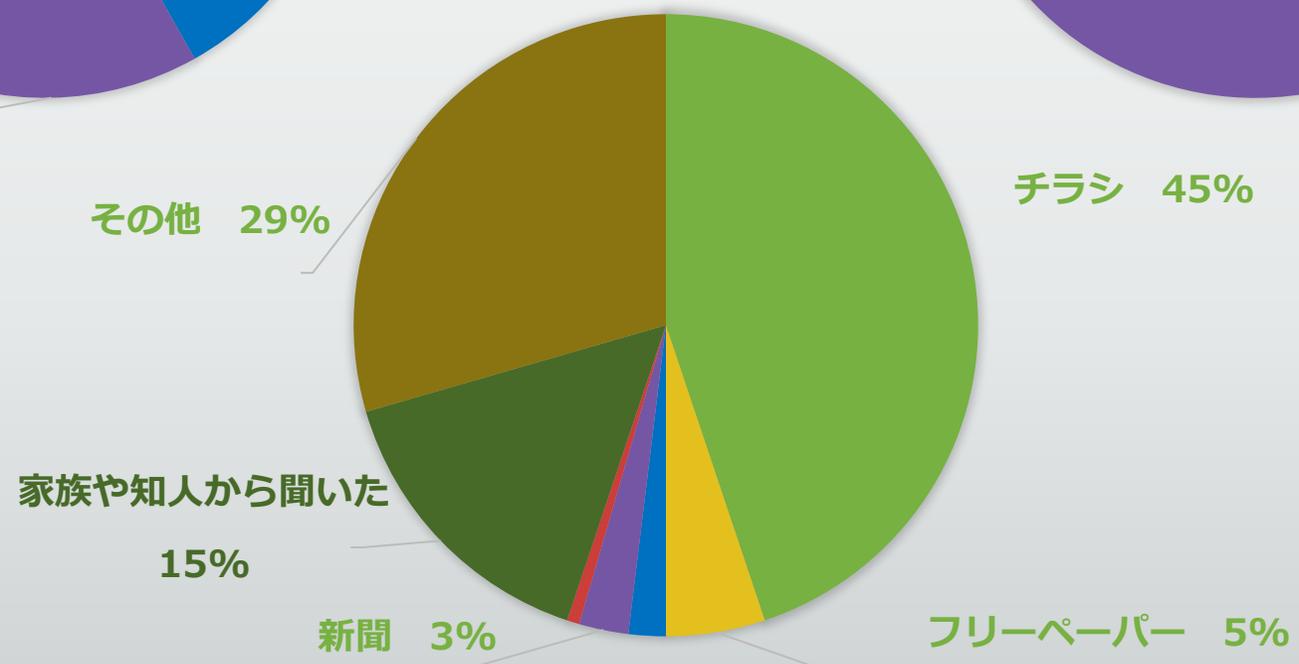
年齢



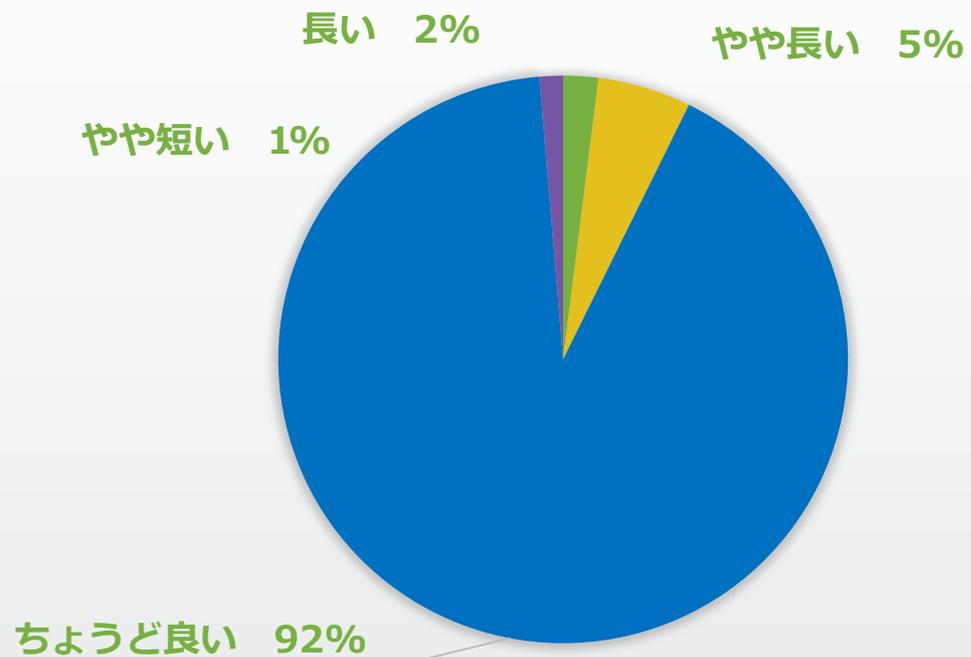
地域



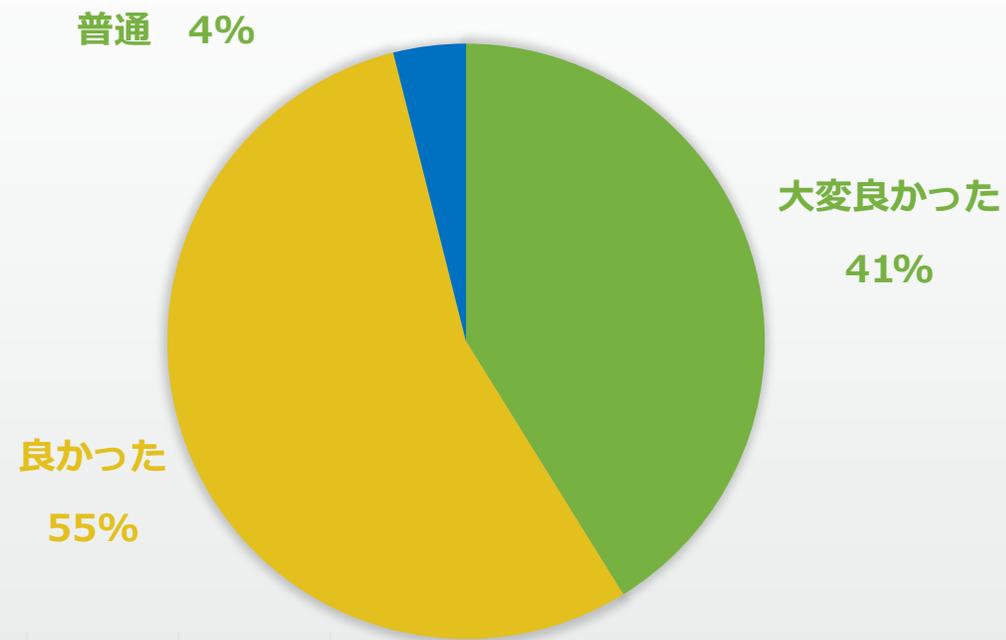
情報源



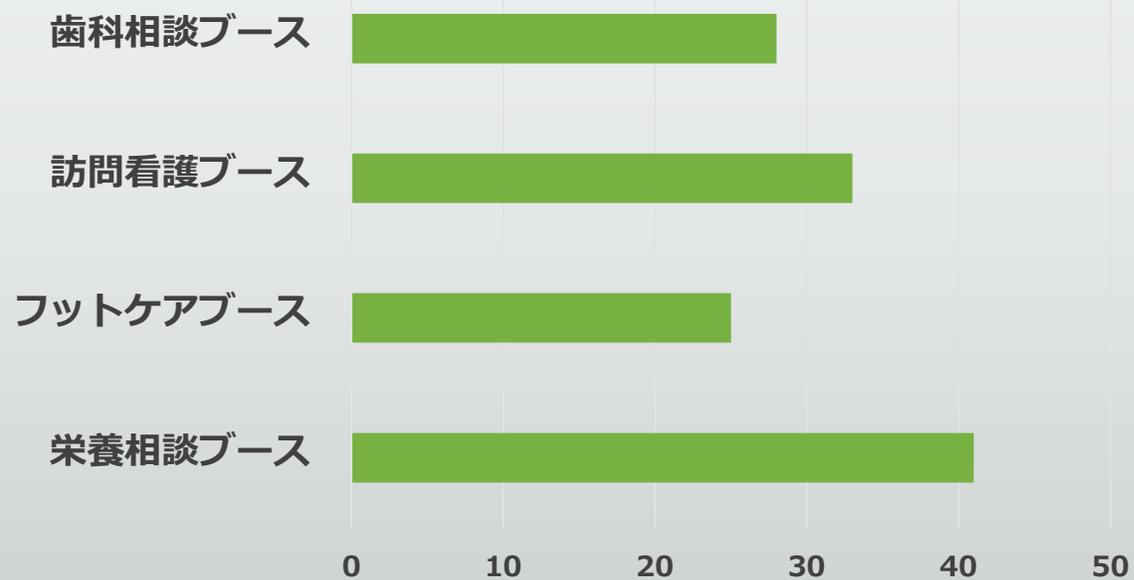
講演時間



講演内容



訪れたブース



講演会についてのご意見・ご要望

- ◆パッククッキングについて詳しく知りたいと思いました。
- ◆普通食と嚥下食を同時に簡単に作る方法など知りたいです。
- ◆両親の病気をきっかけに食事内容を大幅に見直さないといけない状態になりました。色々悩んでいた時なのでどの先生の話もとても参考になりました。
- ◆知りたかったことが分かりやすく丁寧に説明してくれたので良かったです。
- ◆往診や訪問看護、看取り、在宅介護について知りたいです。
- ◆大変良いお話ですが、話をされるスピードが速くてよく聞き取れませんでした。もっとゆっくり話してほしかったです。
- ◆栄養ステーションについてよく分かりました。
- ◆具体的で実際にできることなのでサルコペニアやフレイルにならないよう予防のために今回の講演で得たことを今日からしてみようと思います。
- ◆休憩時間（ブレイクタイム）の利用が良かったと思います。
- ◆坂本さんのお話が良かったです。栄養士なのでとても興味がありました。
- ◆幅広い情報を知ることができました。
- ◆リハビリと食事との関連を大切に患者さんと関わっていかうと思います。
- ◆足立先生の語り口や配布資料はとても分かりやすかったです。
- ◆サルコペニア予防の実技はとても良かったのでみんなでするとよいと思いました。一緒に行う体操がとても楽しかったです。
- ◆嚥下食の調理工夫など栄養に関してもう少し詳しく聞きたいです。
- ◆資料がとても見やすかったです。
- ◆具体例など身近な話も教えていただき良かったです。
- ◆毎日の健康に栄養は大切なので色々参考になりました。健康に気を付けて過ごしていきたいと思います。

特設ブースについてのご意見・ご要望

- ◆色々な資料がいただけて良い経験になりました。
- ◆昨年から来ております。機会があればまた来たいです。
- ◆資料は全ていただきました。ご丁寧にありがとうございました。
- ◆歯科相談ブースの検査機械は2台以上あれば待ち時間も少ないのではないかと思います。
- ◆椅子が2個では時間もかかり、足りないので4個ほど欲しいと思いました。
- ◆どのブースもよく対応していただきました。
- ◆栄養相談は色々聞いて下さり嬉しかったです。
- ◆フットケアブースに参加したかったのですが時間がなく、もっと教えていただく時間があればいいと思いました。
- ◆歯科相談ブースで初めて口の中の菌を見てもらったのですが悪い菌が多かったのでびっくりしました。
- ◆歯科相談ブースで細菌レベル測定があり、していただいたのですが、あまりその機械は歯科に置いていないと言われたので診療報酬で点数が取れば測定する人も増えて口腔チェックにもっと関心が高まるのではないかと思います。

今後の課題

◆連携強化のための研修会

岡山市以外からの参加が少なかったため、開催地や広報について検討する必要があると思われた。

◆ワールドカフェ

医療機関側からの参加者が多かったため、介護・在宅系の関係団体と連携して周知する必要があると思われた。

◆県民フォーラム

新聞や地域情報誌への掲載、関係団体への後援等を通して、岡山市以外にも広報活動を積極的に行ったが、結果として岡山市以外からの参加が少なかった。今後の広報活動について検討する必要があると思われた。

ご協力ありがとうございました。